令和7年度　事業計画(取組方針)（1／2）

Ⅰ．現状の最重要課題

国民の5人に1人は後期高齢者に、3人に1人は65歳以上になるという高齢化の予測もある中、松葉町自治会員の高齢化は進み、退会会員も多く、一方少ない新規加入会員から自治会員の高齢化率も上昇を続け、運営に支障をきたす〝組〟が増加している。

Ⅱ．課題解決に向けた取組

1．組の実態調査に着手する。
2．自治会組織等実行委員会からの提案事項の実施に努める。
3．本部と組の情報交換を密にし、組の課題共有と解決支援、近隣情報共有による未加入世帯の加入促進につなげる。

Ⅲ．本年度の重点活動

防災・防犯にみんなで協力し合い、高齢者や働く世代、子どもたちが楽しく集う明るい街“松葉町”を目指して

1．防犯・防災活動
- ①　自主防災（ 自助 ・ 共助 ）意識の高揚（ 実践的な防災訓練等 ）
- ②　防災器具 ・ 備品の整備充実
- ③　防犯意識の啓発（ 防犯情報の発信、防犯カメラの設置検討等 ）

2．会員の生活を守り、住みよい街づくりをめざす活動
- ①　交通不安全箇所の抽出と改善促進
  （ 地区社協主催街並み点検との連携等 ）
- ②　町内美化の推進（ ゴミ置き場の清掃活動等 ）
- ③　福祉厚生の推進（ 敬老事業の継続、新生児祝い制度のPR等）
- ④　笑顔あふれる街づくり（ あいさつ標語の活用、あいさつ運動の推進等 ）
- ⑤　地域の絆づくり（ ひまわり公園の維持管理等 ）

3．会員同士の親睦を図る活動
- ①　松葉町の連帯感強化を支援する納涼大会の企画検討 ・ 実施
- ②　各組の連帯感強化を支援するレクリエーションの企画検討 ・ 開催

Ⅳ．重点活動推進を支える取組

1．　資源回収の収益拡大による活動資金の補填
2．　広報紙等を通じた本部活動内容の見える化継続
3．　デジタルメディアの活用による全員参加の自治会活動環境づくり
4．　関連団体への支援強化による自治会活動の充実
5．　公民館行事への積極参画による近隣地域との連携強化
6．　地域団体等との連携づくり（ 社会福祉協議会、光が丘地区子ども会育成連絡協議会など）